

宝くじ活性化検討会報告書

宝くじ、いま新展開のとき
～夢おこしを社会貢献に～

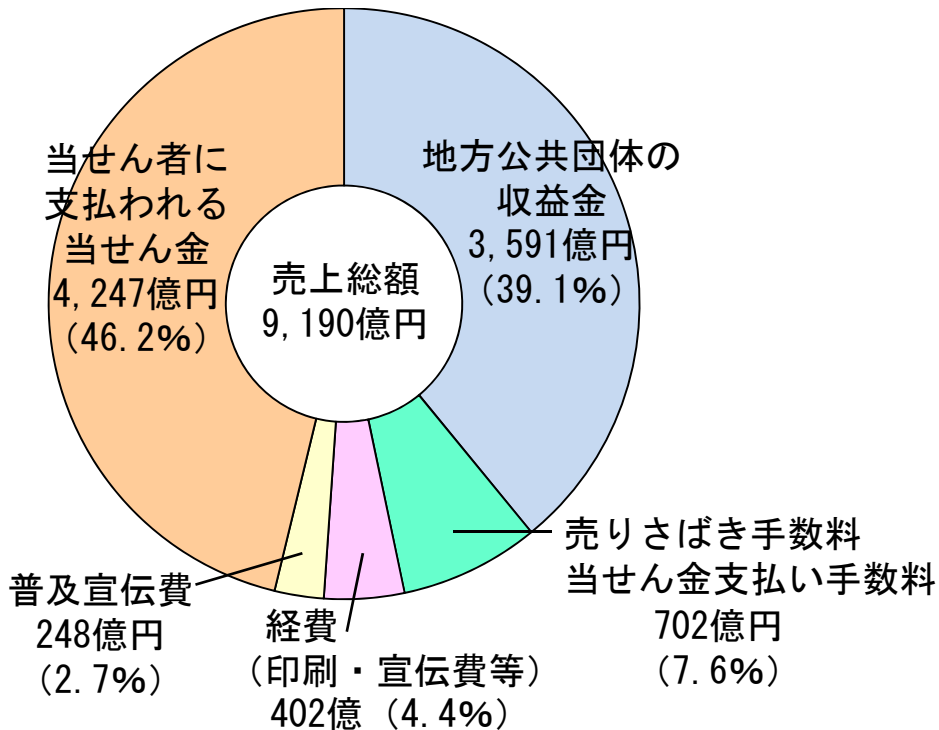
参 考 資 料

1. 宝くじの概要	．．．	1
2. 宝くじ売上額関係	．．．	5
3. 宝くじ世論調査等	．．．	11
4. インターネット販売関係	．．．	19
5. 受託業務関係	．．．	20
6. 高額当せん金関係	．．．	23
7. 平成23年度宝くじ収益金充当事業内容	．．．	25

宝くじの概要について（その1）

○発売主体	都道府県及び指定都市（全66団体）
○発売根拠	地方財政法第32条及び当せん金付証券法 （刑法第187条（富くじ発売等の禁止）の特例）
○発売手続	発売団体の議会による発売限度額の議決、総務大臣の許可
○収益金の帰属	発売地域の都道府県及び指定都市に帰属
○収益金の使途	発売団体が実施する幅広い事業に充当が可能

宝くじ売上の使途
(平成22年度実績ベース)



1 当せん金(当せん金付証券法第5条)

当せん金の総額⇒発売総額の5割以下
 1枚あたりの当せん金最高金額⇒1枚あたり単価の20万倍以下
 ただし、総務大臣が指定する当せん金付証券⇒100万倍以下
 加算型当せん金付証券⇒200万倍以下

2 手数料(当せん金付証券法第6条3項1号、6条4項)

売りさばき及び当せん金品の支払又は交付に対する手数料
 ⇒一当せん金付証券につき1割を超えない範囲で都道府県知事
 又は指定都市市長が定める。

3 印刷・宣伝費等(当せん金付証券法第6条3項2号)

当せん金・手数料を除く、当せん金付証券の発売等に必要な経費

4 普及宣伝費(当せん金付証券法第13条の2)

宝くじの発売が地方財政資金の調達に寄与していることについて
 住民の理解を深めるとともに、世論動向等を把握するための経費

5 収益金(当せん金付証券法第16条1項)

売上から、当せん金・手数料・印刷・宣伝費等を控除した残額

宝くじの概要について（その2）

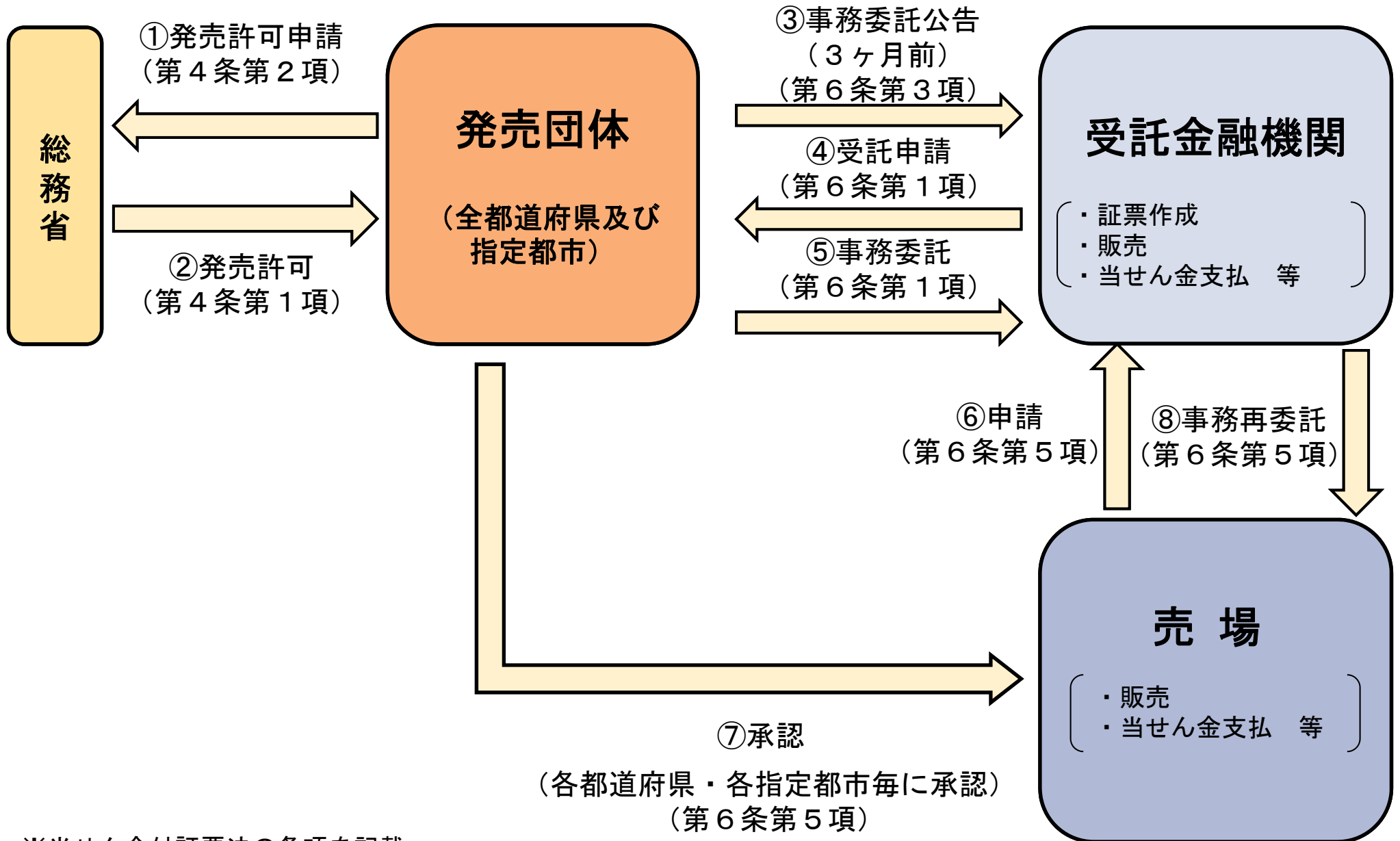
宝くじ収益金の使途

宝くじの種類

地方財政法第32条及び地方財政法第32条に規定する事業を定める省令に定められた事業
<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業 ・国際化推進事業 ・地方博覧会等事業 ・高齢化少子化対策事業 ・情報化事業 ・芸術文化振興事業 ・災害対策事業 ・地域経済活性化事業 ・社会貢献活動事業 ・環境保全・創造事業 ・調査研究・人材育成

		発売団体	名称・宝くじの種類	平成23年度 発売計画額 (億円)
全国自治宝くじ	全国自治宝くじ 事務協議会	ジャンボくじ	ドリーム、サマー、年末、オータム、東日本大震災復興支援グリーン	4,860
		通常くじ	普通くじ、スクラッチくじ	378
		数字選択式くじ	ナンバーズ、ミニロト、ロト6	3,949
ブロックくじ	東京都宝くじ		普通くじ、スクラッチくじ	127
	関東・中部・東北自治宝くじ (関東・中部・東北自治宝くじ事務協議会の23道県、11指定都市で構成)		普通くじ、スクラッチくじ	463
	近畿宝くじ (近畿宝くじ事務協議会の6府県、4指定都市で構成)		普通くじ、スクラッチくじ	167
	西日本宝くじ (西日本宝くじ事務協議会の17県、4指定都市で構成)		普通くじ、スクラッチくじ	208
地域医療等振興自治宝くじ(栃木県)		普通くじ、スクラッチくじ	105	
復興くじ(東日本大震災復興、口蹄疫復興)		普通くじ、スクラッチくじ	375	
発売計画額合計				10,632

宝くじ発売の流れ



※当せん金付証票法の条項を記載。

宝くじの運営について

- 宝くじの運営については、
 - ① 全国くじについては、地方自治法第 252 条の 2 の規定に基づく「全国自治宝くじ事務協議会」を設置し、全国くじの発売の事務を共同して管理及び執行。
 - ② ブロックくじについても同様に協議会を設置し発売の事務を共同して管理及び執行。（東京都を除く。）

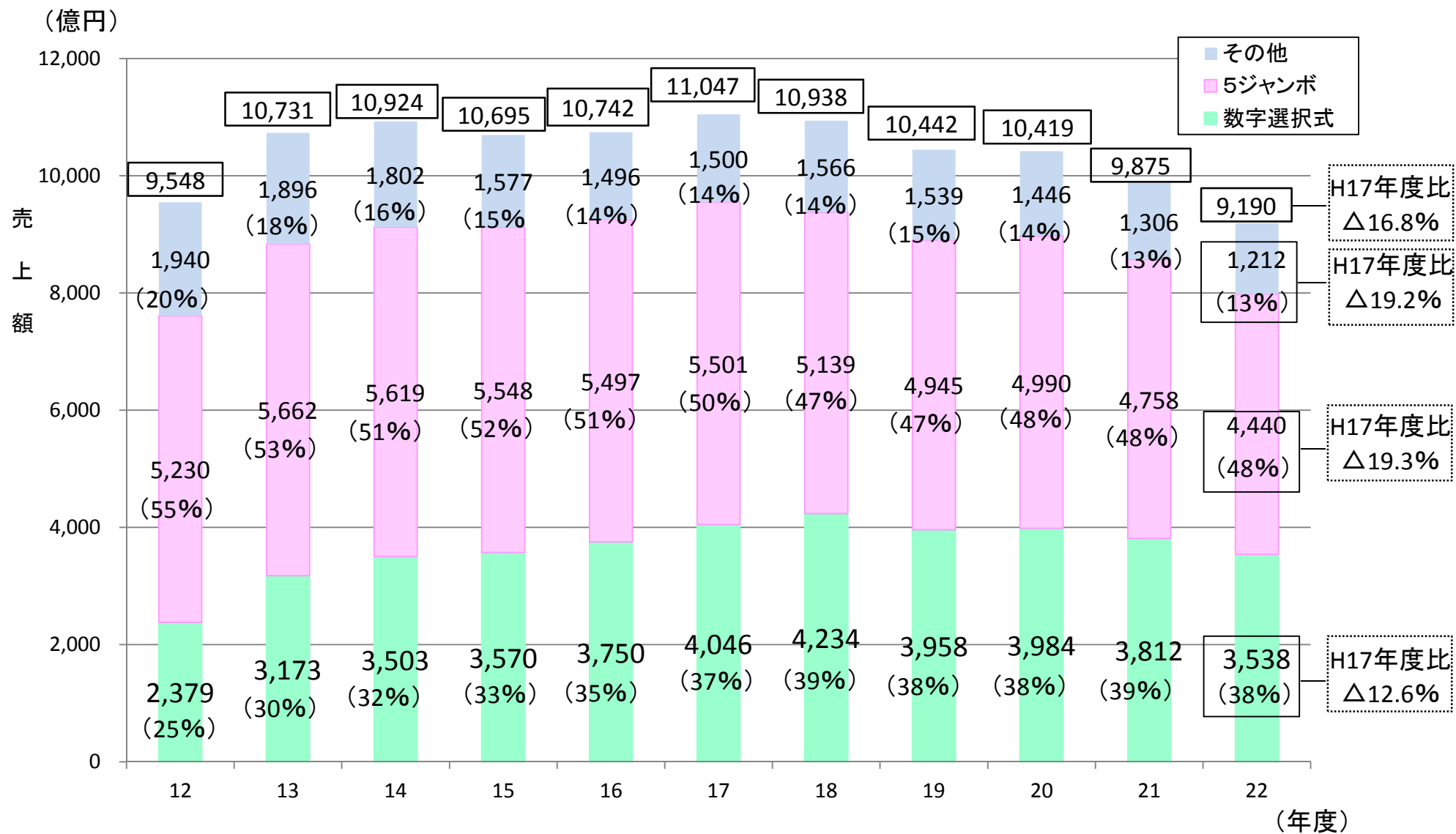
協議会の 1 年の流れ (全国協議会の例)

- 5 月 前年度協議会決算
前年度発売実績・委託経費
- 10 月 翌年度発売計画
翌年度宝くじ資金運用計画
(12月10日までに総務省に発売計画を提出)
- 12 月 翌年度宝くじ発売事務委託経費
- 3 月 翌年度協議会予算
役員を選任（隔年）

	全国くじ	ブロックくじ		
	全国自治宝くじ事務協議会	関東・中部・東北自治宝くじ事務協議会	近畿宝くじ事務協議会	西日本宝くじ事務協議会
構成団体	47 都道府県 +19 指定都市	23 道県 +11 指定都市	6 府県 +4 指定都市	17 県 +4 指定都市
会長	東京都知事	神奈川県知事	大阪市長／大阪府知事（2年ごとに交代）	福岡県知事
委員 (各団体の担当課長)	9 名（7 地区×1 名+指定都市代表+事務局長）	8 名（4 地区×2 名）	10 名（各団体 1 名）	21 名（各団体 1 名）
監事	2 名	2 名	2 名	2 名
事務局長	東京都財務局主計部長	神奈川県政策部財政課長	大阪市財政局財務部資金担当課長／大阪府総務部財政課長	福岡県総務部財政課長
備考	年 4 回開催	年 2 回開催（総会×1+委員のみ出席×1）	年 3 回開催	年 2 回開催

(注) ブロックくじのうち東京都くじは東京都が、地域医療等くじは栃木県が実施。

宝くじ売上額の推移



近年の宝くじ販売不振について考えられる主な要因

1. 購入者は微減

最近1年間購入者(推計)

⑲5,821万人 → ⑳5,787万人(△0.6%)

2. 購入者1人当たりの平均購入金額が大幅に減少

最近1年間の購入者1人当たりの宝くじ平均購入総額

⑲362.8百円 → ⑳278.8百円(△23.2%) (参考)⑰294.5百円



<考えられる主な要因>

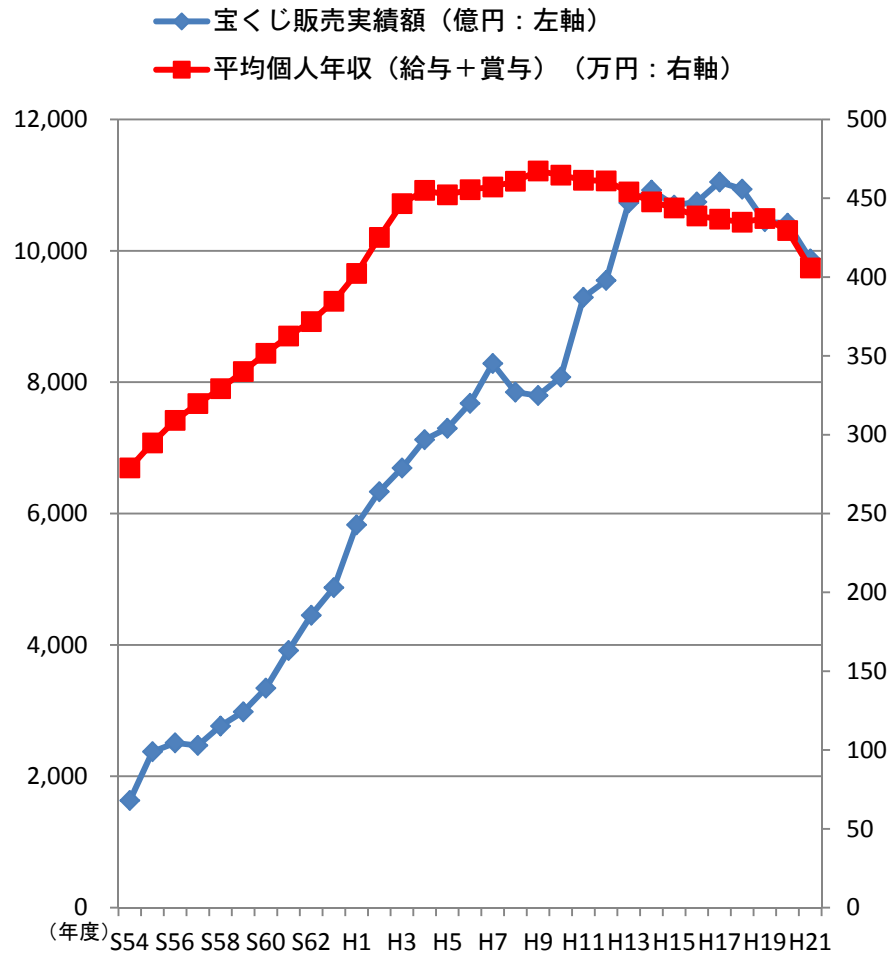
- ① 平均個人年収の減少 ⑲437万円 → ㉑406万円(△7.1%)
- ② 販売店の減少 ⑲17,230店 → ㉑15,825店(△8.2%)
- ③ 魅力のある新商品の不足
- ④ BIG(最高当せん金6億円※)の登場により宝くじからスポーツ振興くじtotoへ顧客シフト

※ キャリーオーバー発生時(通常は3億円)。

(注) BIGはスポーツ振興くじtotoの商品の一つ。

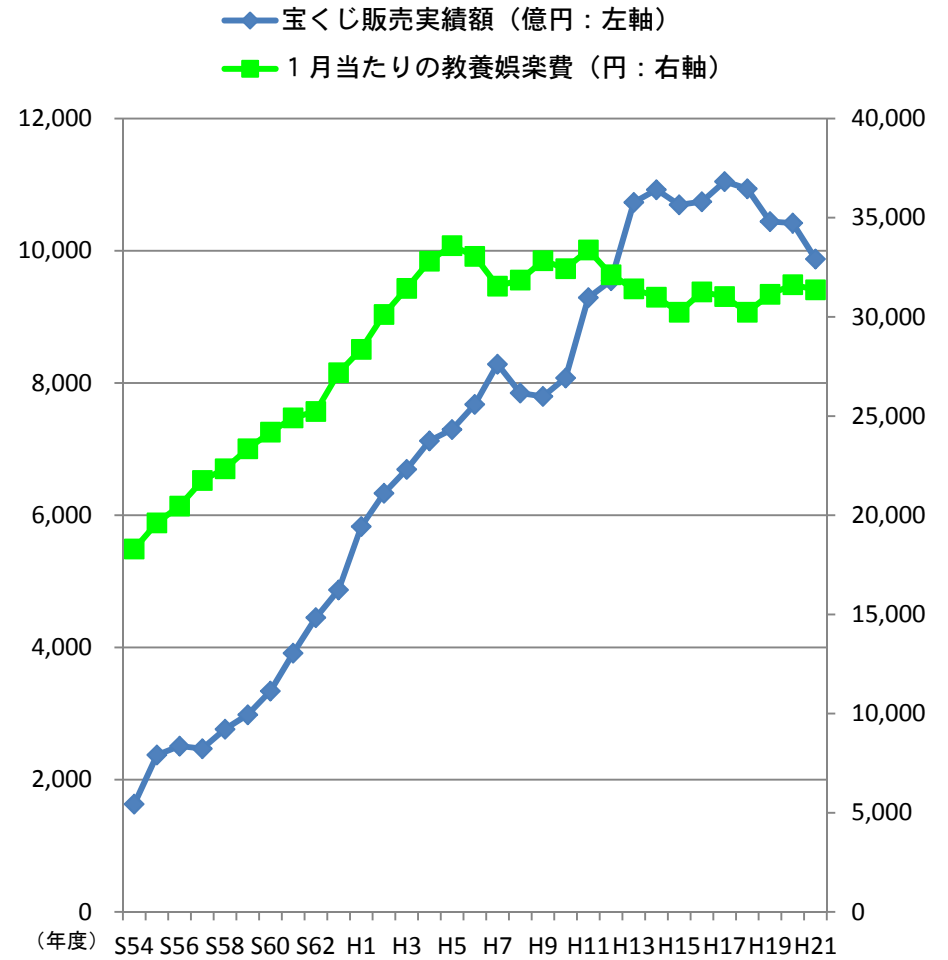
平均個人年収と宝くじ販売額の相関 (S54~H21)

平均個人年収と宝くじ販売額の相関



相関係数: 0.850

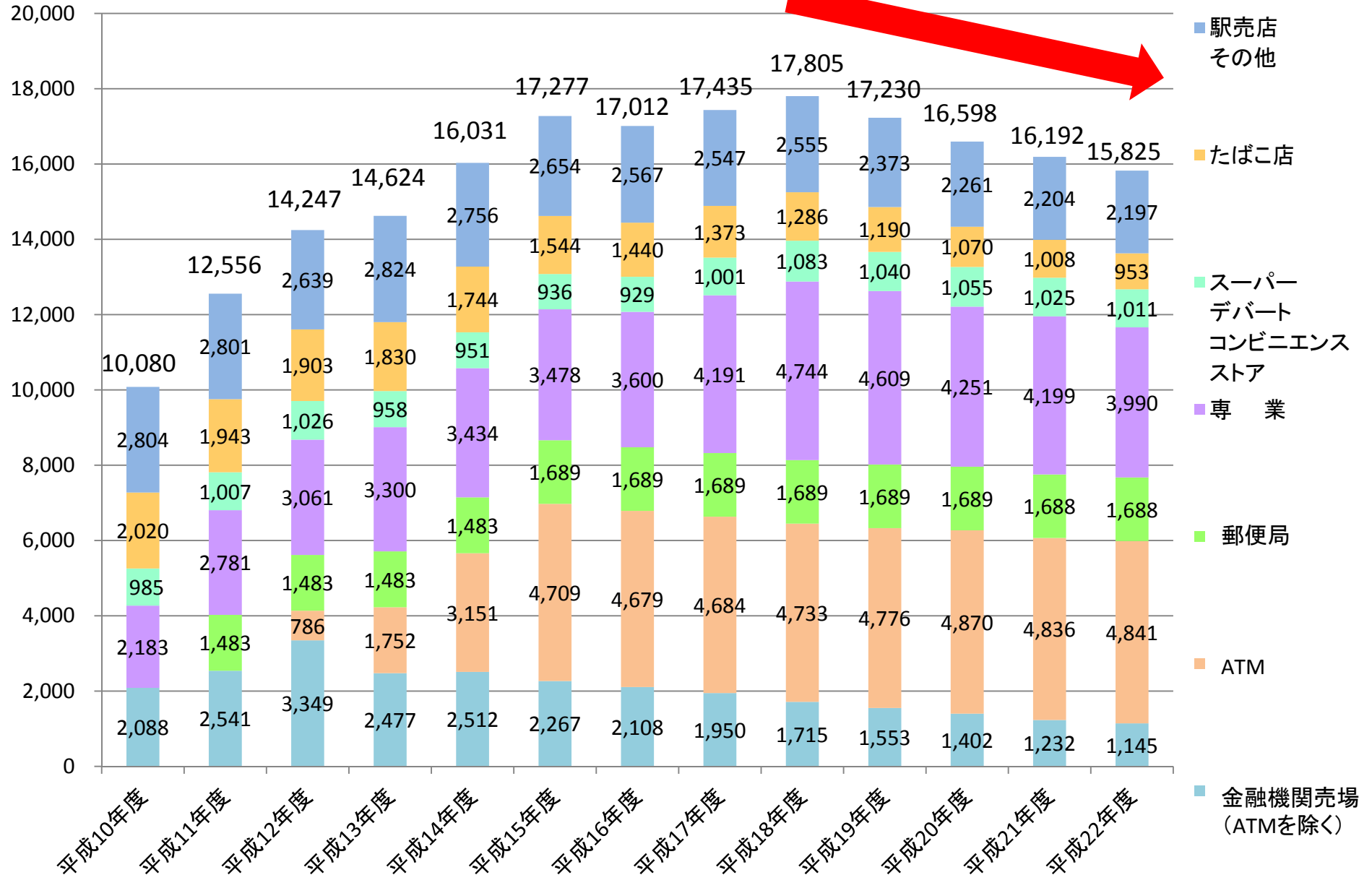
1月当たりの教養娯楽費と宝くじ販売額の相関



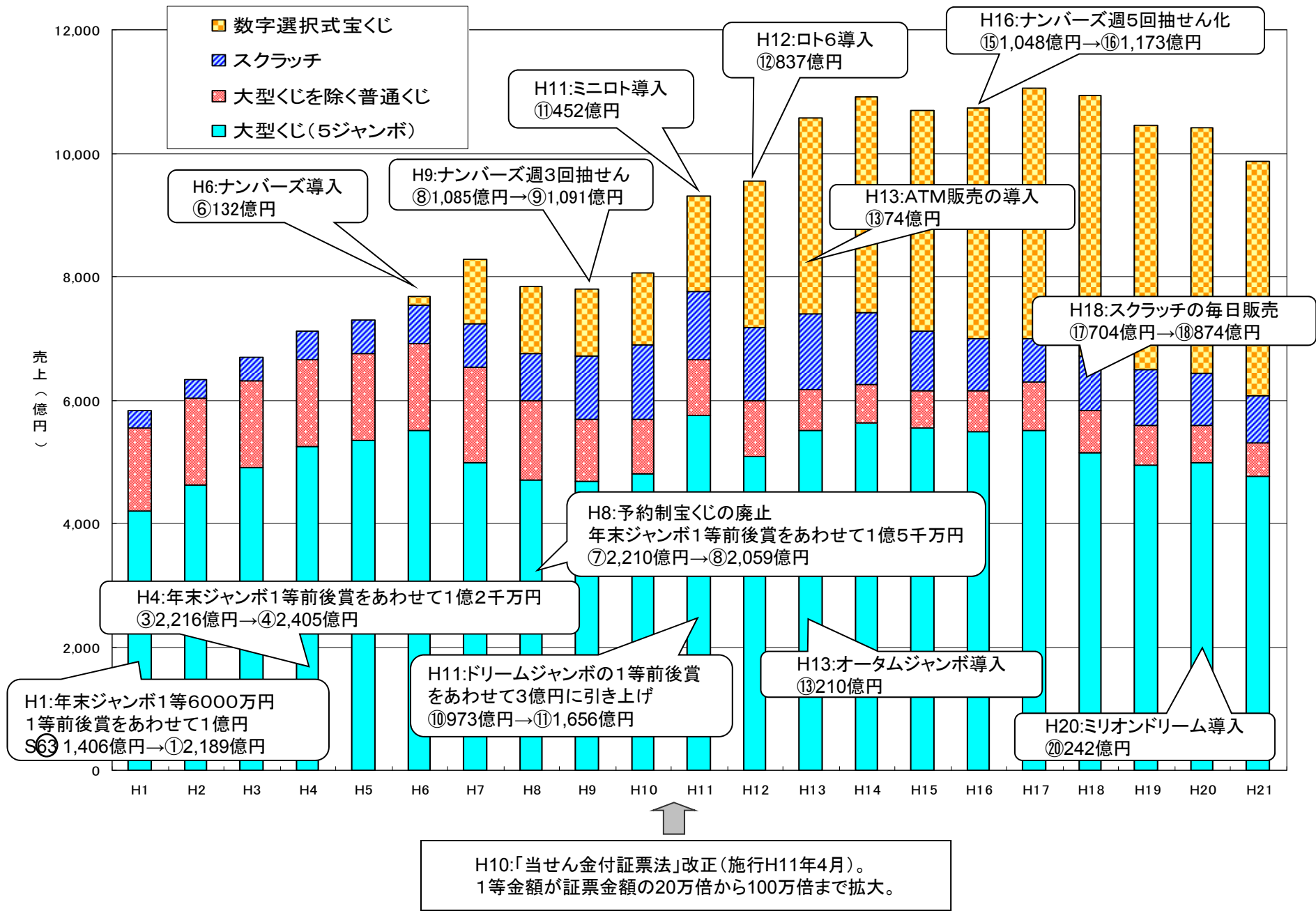
相関係数: 0.850

宝くじ販売店数の推移

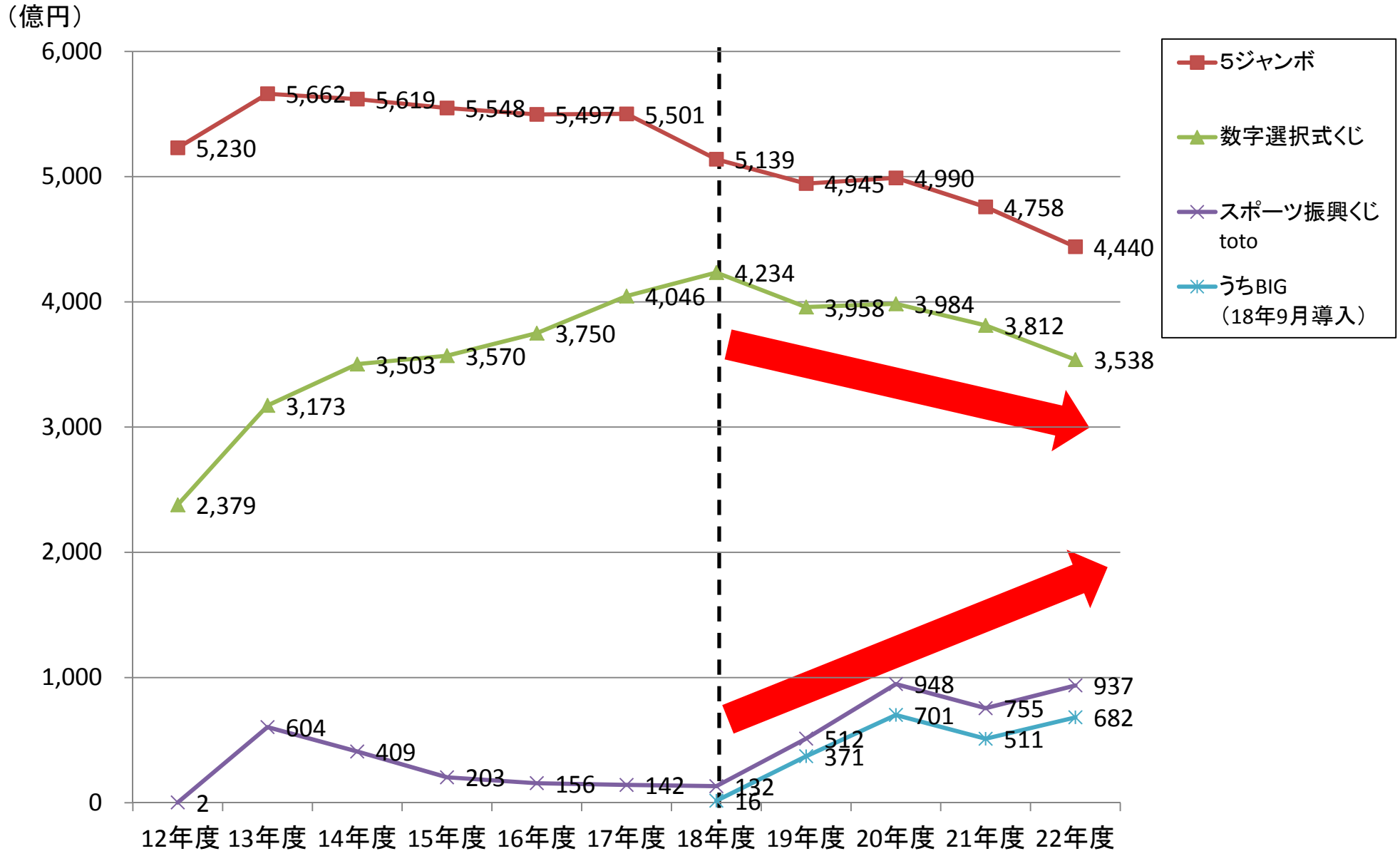
店舗数



宝くじの施策と発売実績の推移

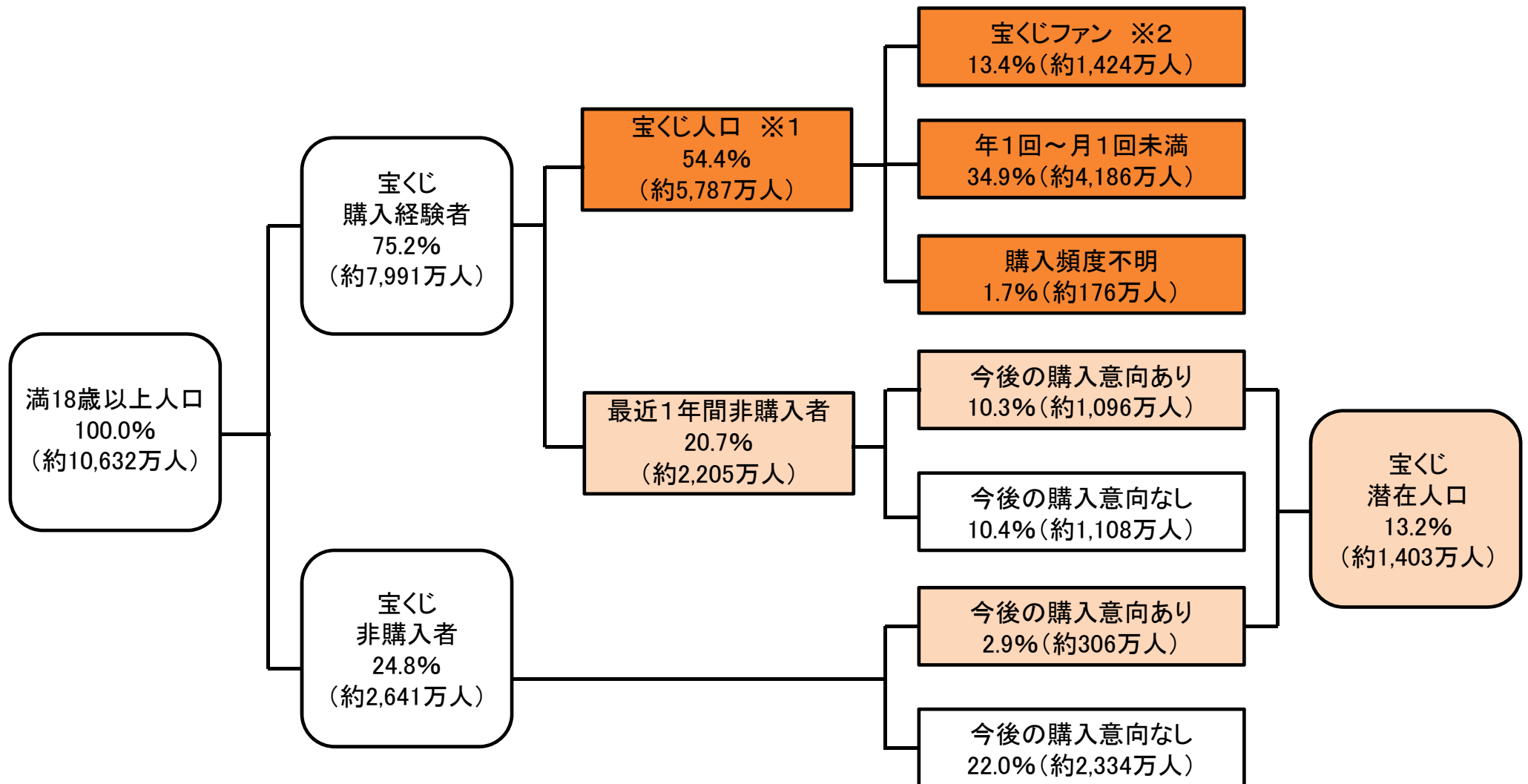


宝くじとスポーツ振興くじtotoの売上額推移



※ toto及びBIGの売上額は暦年ベース。
 ※ BIGには、BIG1000及びminiBIGは含まない。

宝くじの購入に関する実態

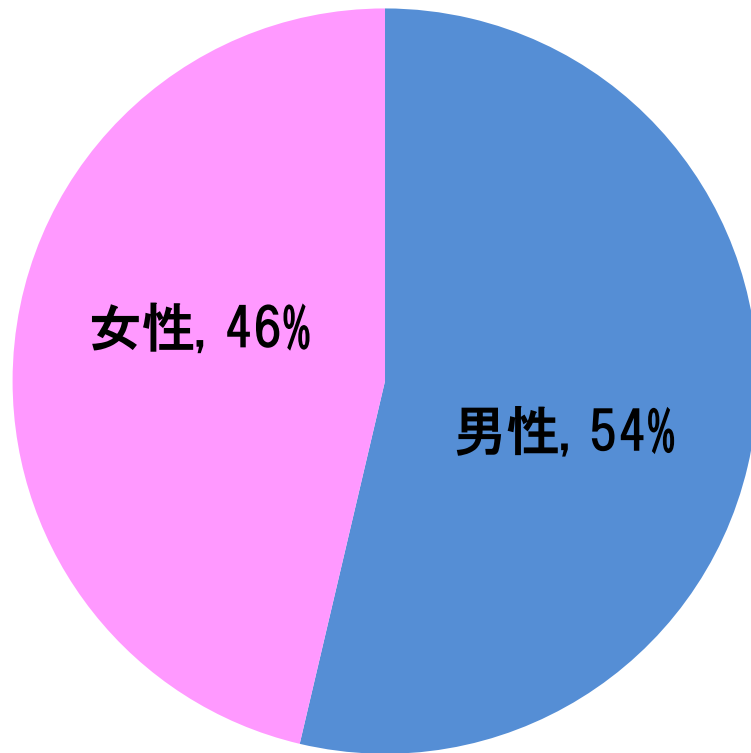


※1 宝くじ人口 : 最近1年間に1回以上宝くじを購入した人
 ※2 宝くじファン : 最近1年間に月1回以上宝くじを購入した人
 ※3 第12回「宝くじ」に関する世論調査報告書(H22. 8)

宝くじ購入者の構成比（性別）

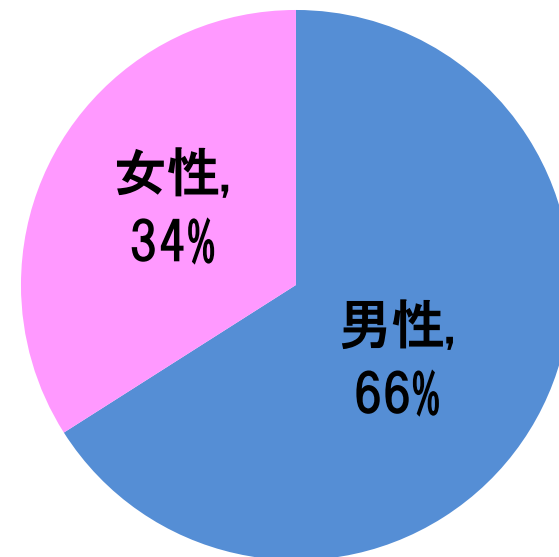
1. 最近1年間の宝くじ購入者 （宝くじ人口）の構成比（性別）

推計人口 5,787万人



2. 最近1年間の月1回以上宝くじ 購入者（宝くじファン）の構成比 （性別）

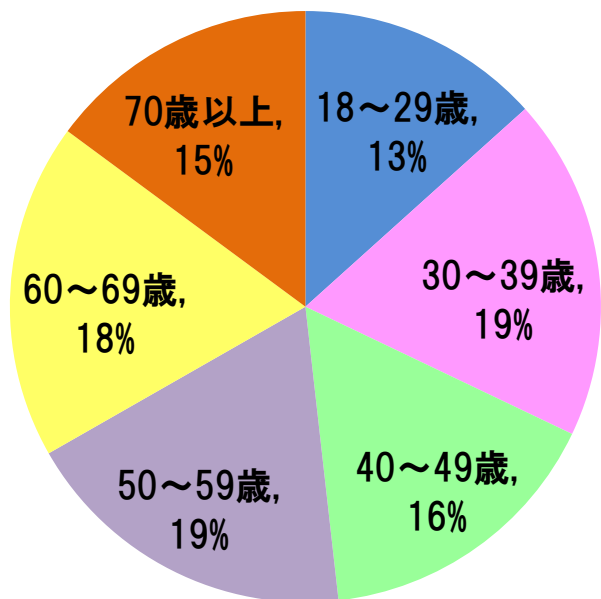
推計人口 1,424万人



宝くじ購入者の構成比（年齢別）

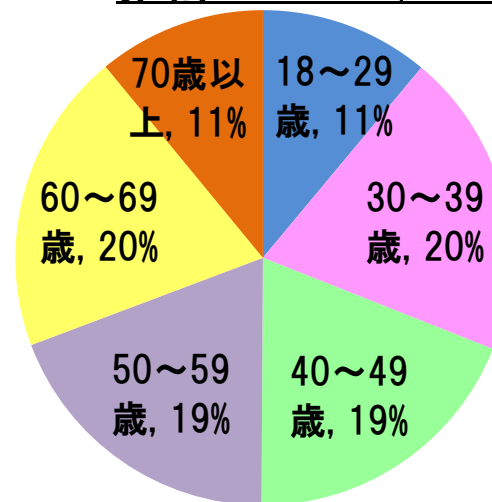
1. 最近1年間の宝くじ購入者 （宝くじ人口）の構成比（年齢別）

推計人口 5,787万人

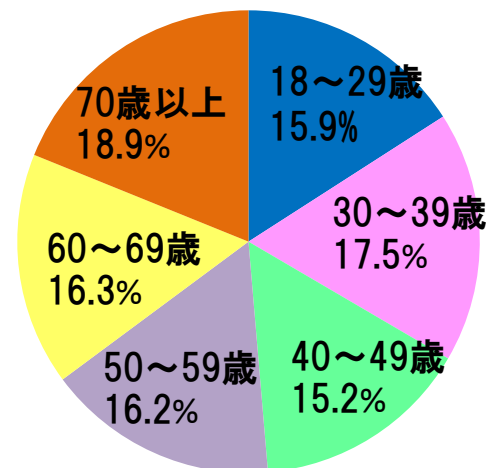


2. 最近1年間の月1回以上宝くじ 購入者（宝くじファン）の構成比 （年齢別）

推計人口 1,424万人

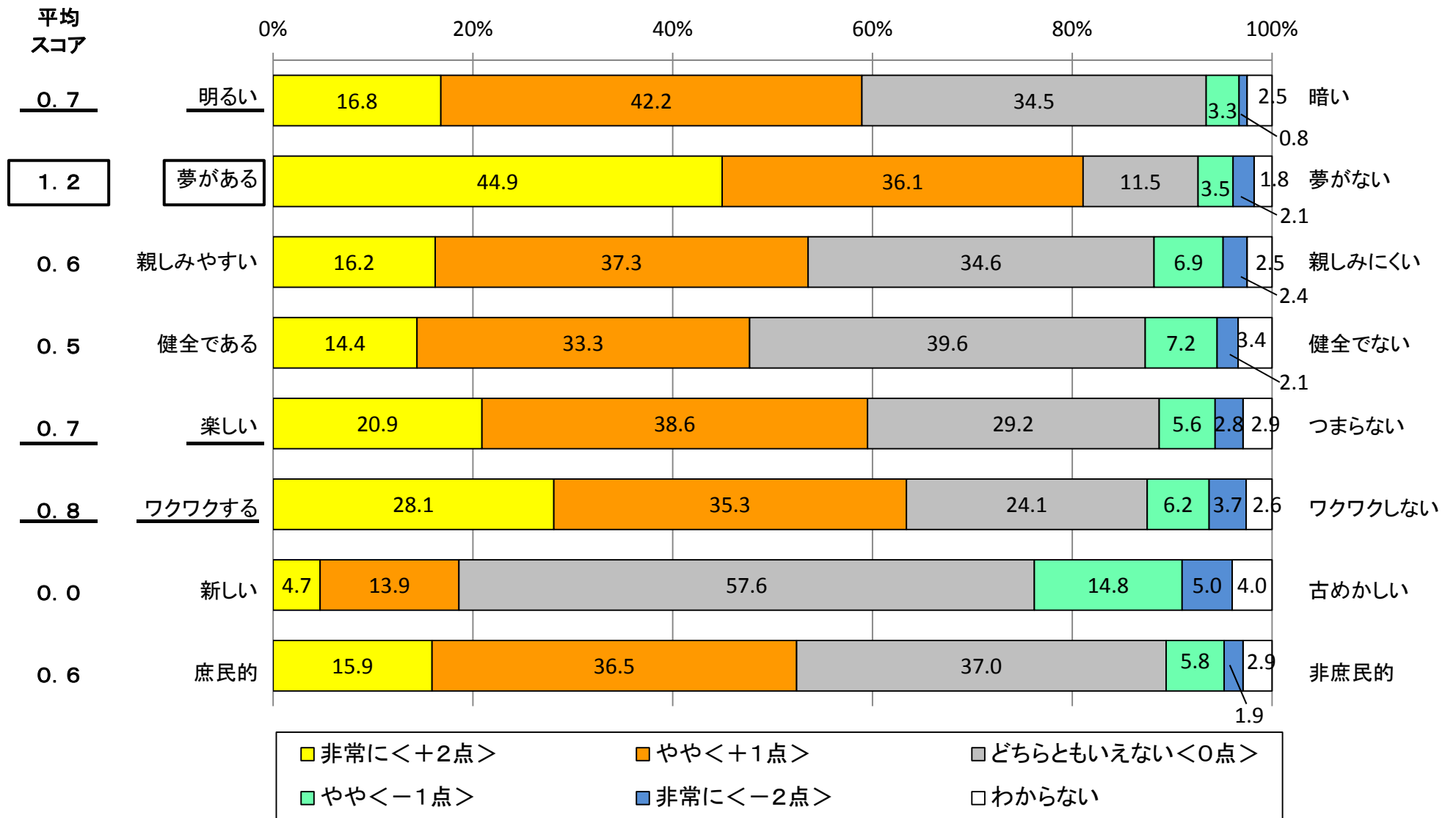


（参考）母集団人口の構成比



※第12回「宝くじ」に関する世論調査報告書(H22.8)

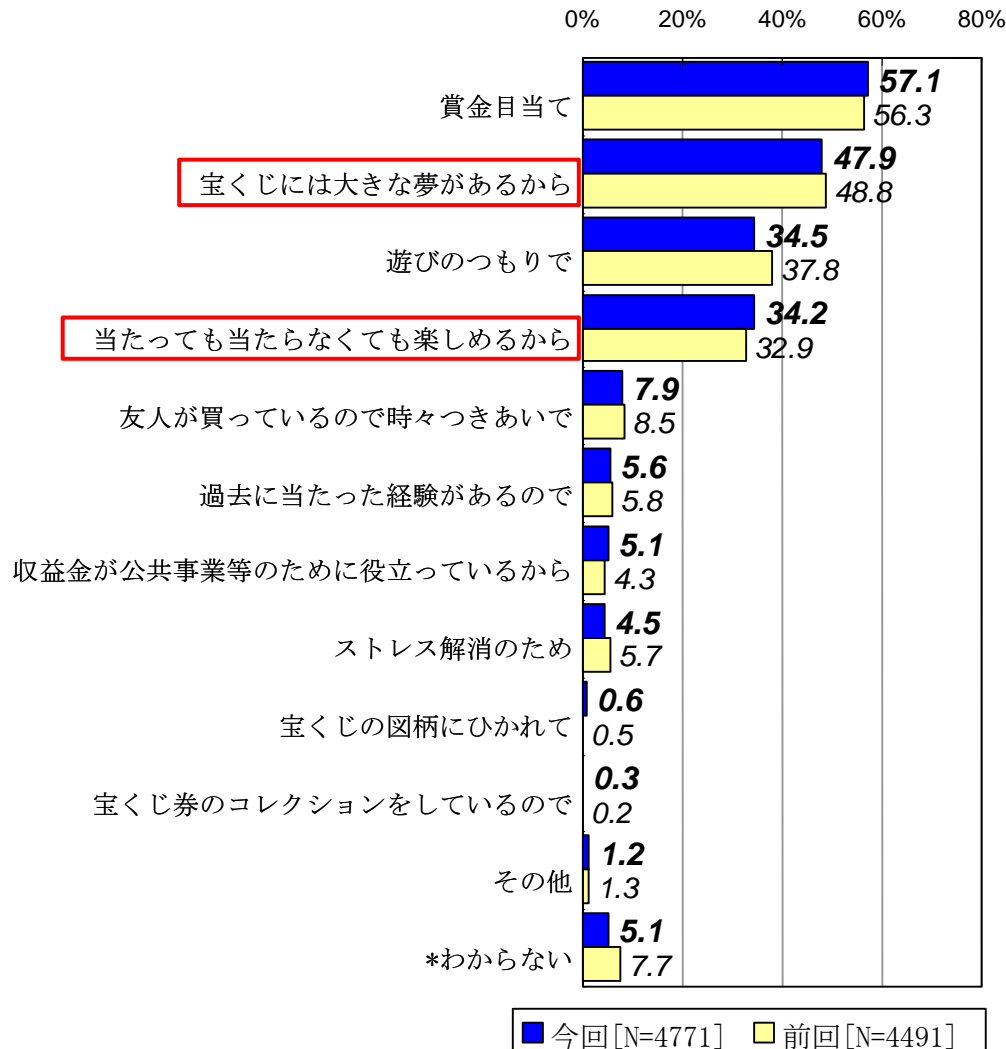
宝くじのイメージ



※<>内は、平均スコアの算出に用いた値

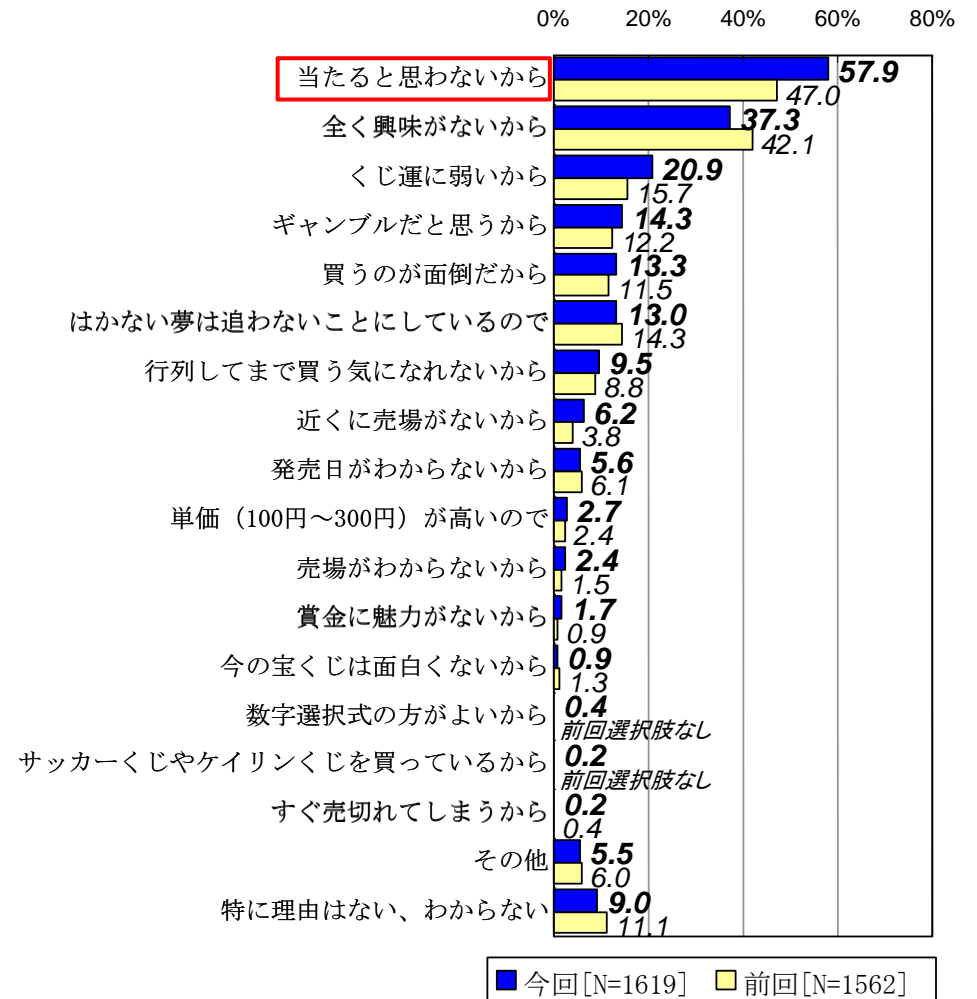
宝くじ（数字選択式以外）購入理由及び非購入理由

1. 宝くじ（数字選択式以外）購入理由 [N=購入経験者]（複数回答）

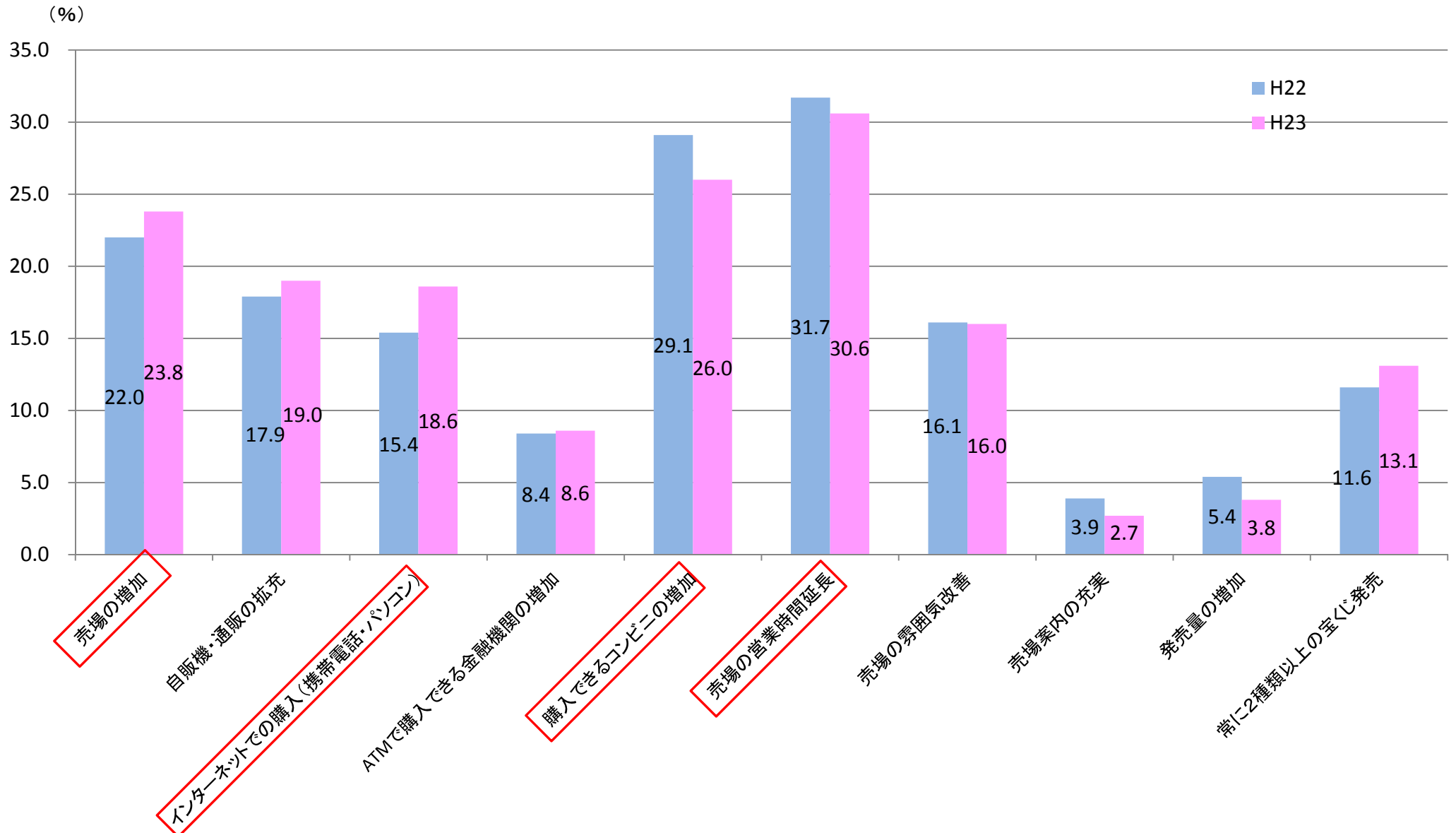


* 前は「特に理由はない、わからない」

2. 宝くじ（数字選択式以外）非購入理由 [N=買ったことがない人]（複数回答）



宝くじ販売についての要望



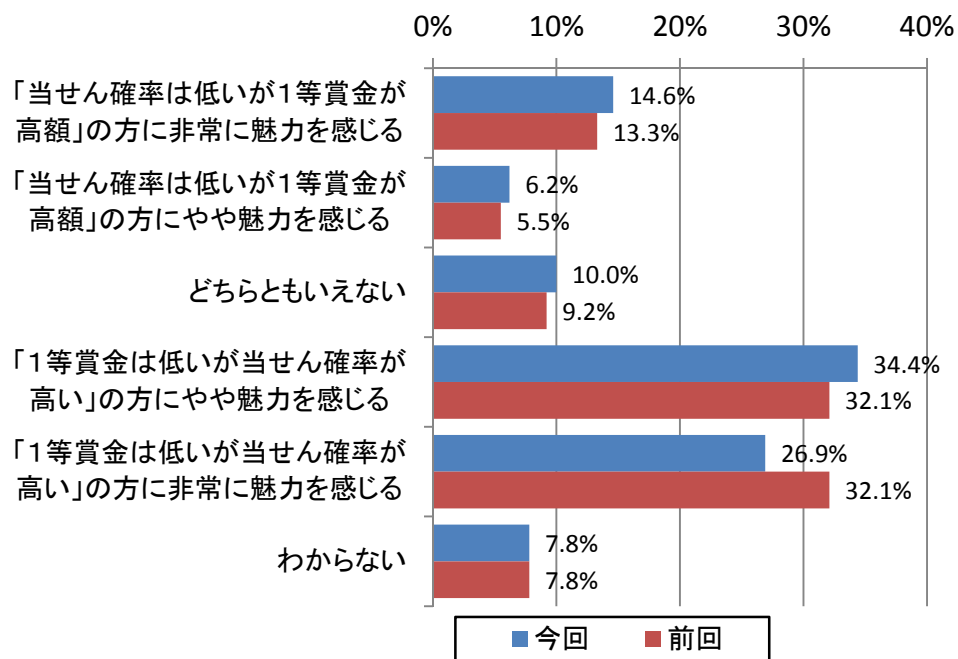
※1 「回答は2つ以内」として調査

※2 平成23年度第1回宝くじモニターアンケート調査報告書(H23.7月)

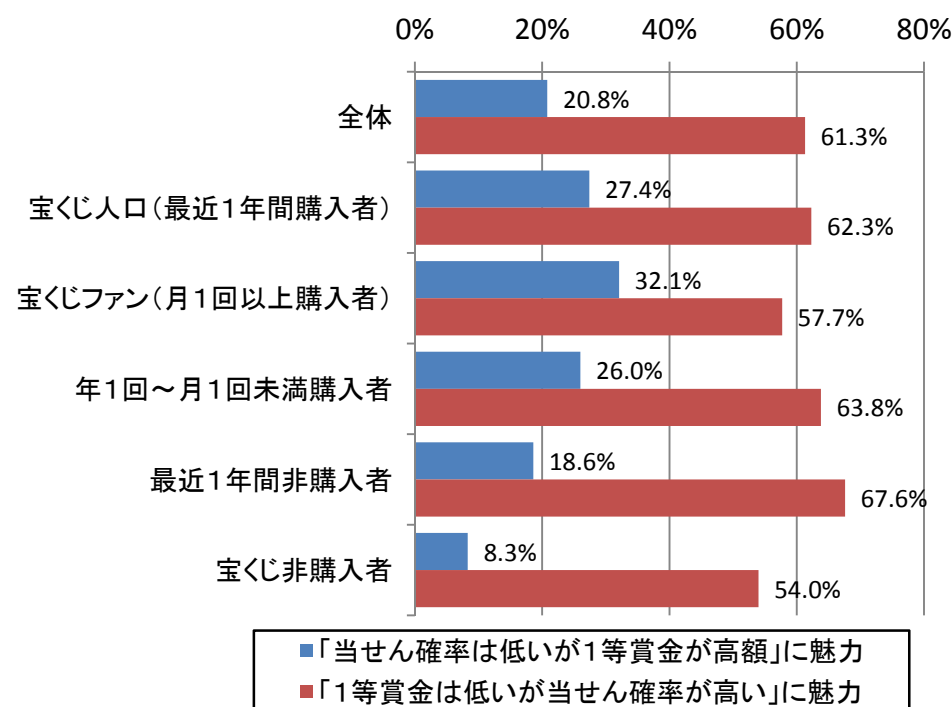
1等賞金の魅力度の世論調査結果について

「高額1等賞金」（20.8%）よりも「当せん確率」（61.3%）の高さを魅力的とする人の方が多い傾向は継続。ただし、「高額1等賞金」の高さを魅力的とする人の割合は、徐々に増加する傾向にある。また、宝くじファンの方が相対的に「高額1等賞金」の高さを魅力的とする人の割合が高い。

①1等賞金の魅力度:高額1等賞金か、当せん確率かの比較



②1等賞金の魅力度:高額1等賞金か、当せん確率かの比較【購入層(宝くじ人口構成)別】



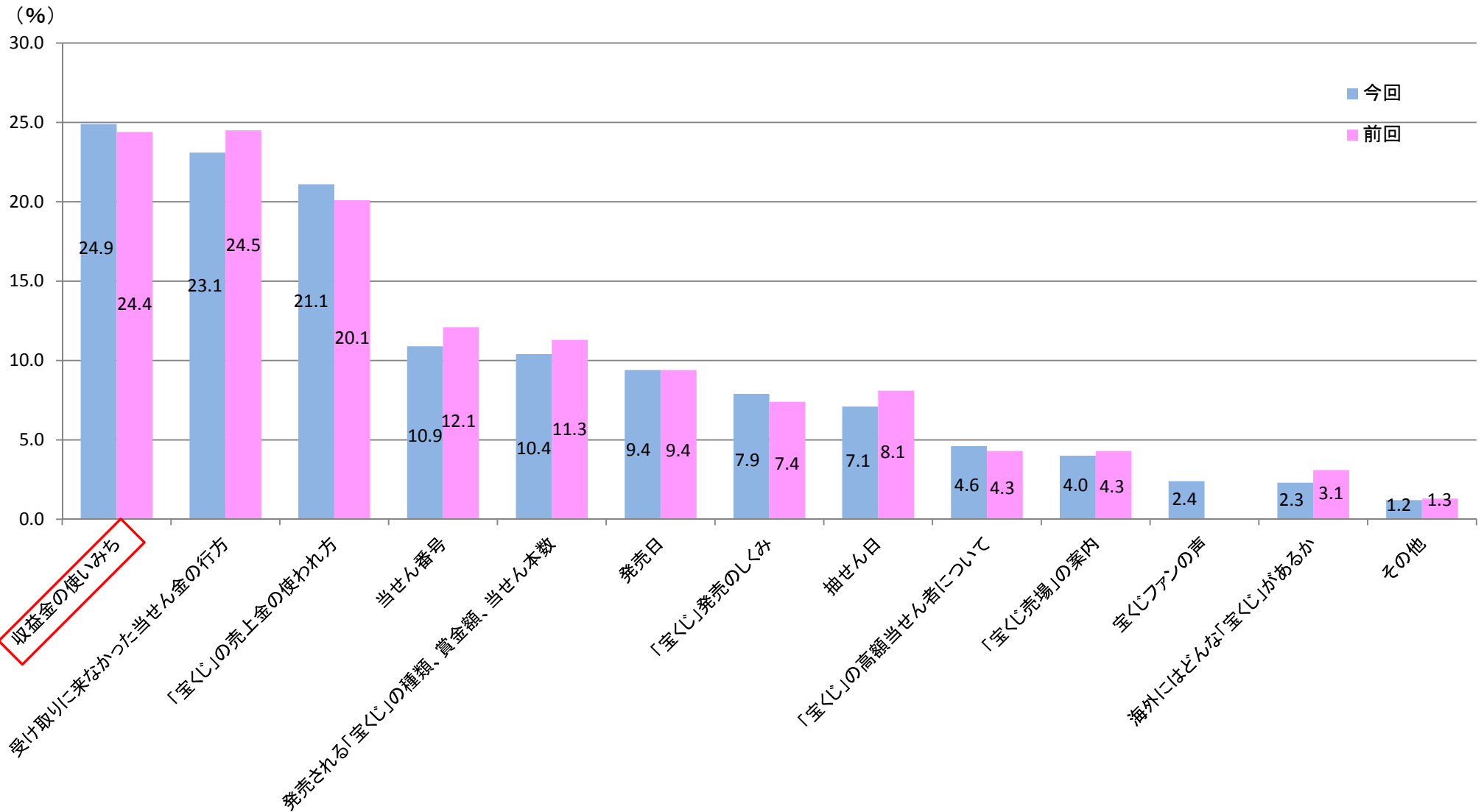
③1等賞金の魅力度の推移

(単位:%)

	第7回 (H7)	第8回 (H10)	第9回 (H13)	第10回 (H16)	第11回 (H19)	第12回 (H22)
「当せん確率は低いが1等賞金が高額」に魅力	16.2	16.9	17.6	18.0	18.8	20.8
「1等賞金は低いが当せん確率が高い」に魅力	62.9	63.8	60.9	61.8	64.2	61.3

※第12回「宝くじ」に関する世論調査報告書(H22.8)

「宝くじ」について知らせてほしいことから



※複数回答

※「宝くじのファンの声」は前回選択肢なし

※第12回「宝くじ」に関する世論調査報告書(H22.8)

インターネット販売状況

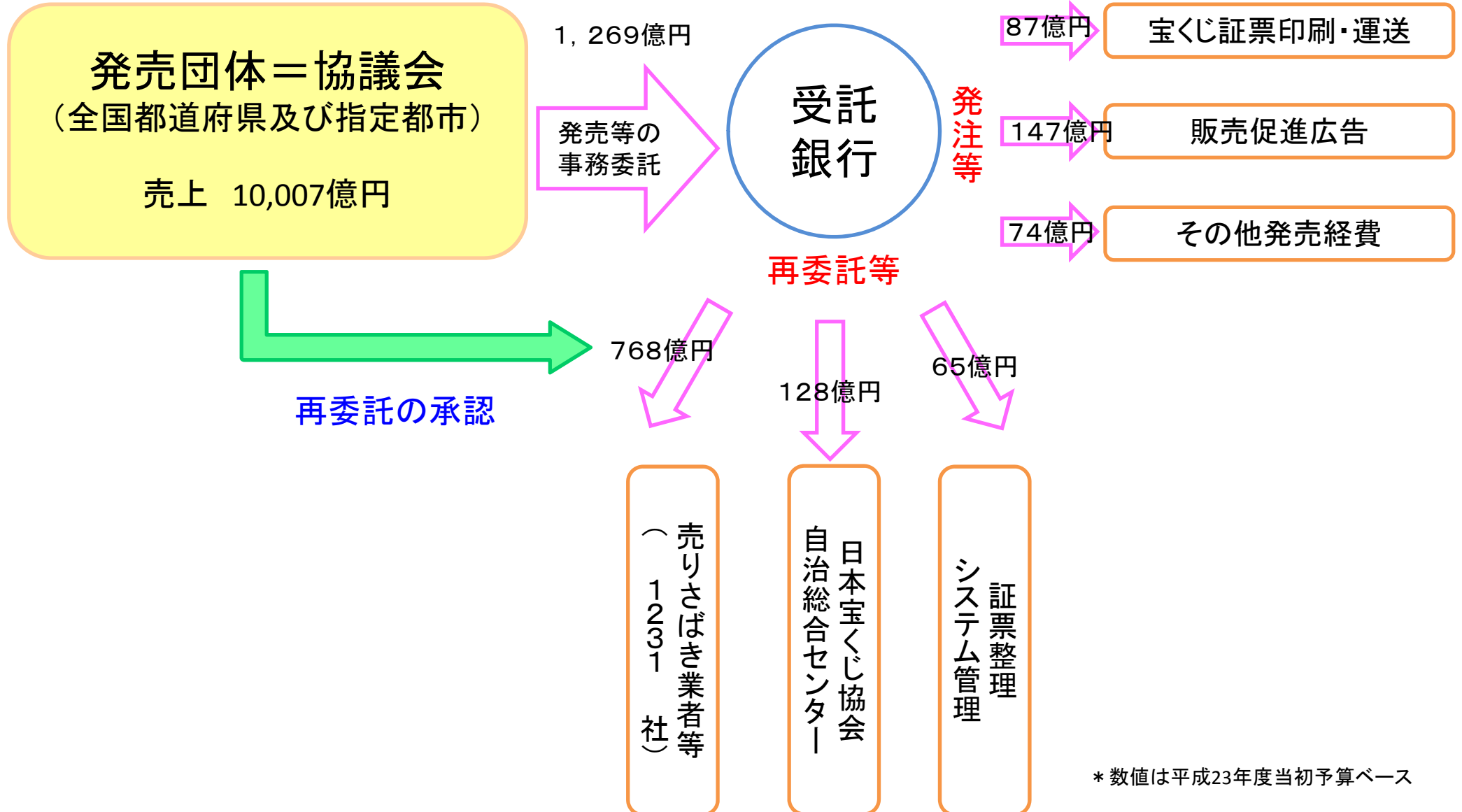
	中央競馬 (JRA)	スポーツ振興 くじtoto	地方競馬	競輪	オートレース	競艇
インターネット販売 導入時期	平成14年3月	平成17年8月	平成14年11月	平成14年4月	平成15年6月	平成13年7月
平成22年度 売上額	24,276億円 ※1	937億円 ※1	3,332億円	6,350億円	861億円	8,435億円
うちインターネット 販売分シェア	55% ※2	52%	32% ※2	14%	23%	25%

※1 中央競馬(JRA)とスポーツ振興くじtotoは平成22年の売上データ。

※2 中央競馬(JRA)と地方競馬のインターネット販売分シェアは、インターネットと電話を含めた電話投票による販売分のシェア。

発売等の事務委託の流れ

宝くじの発売等の事務委託に係る予算は、毎年12月に開催される全国自治宝くじ事務協議会において決定されている。



* 数値は平成23年度当初予算ベース

宝くじ発売等に係る各経費の推移

(単位:百万円)

科 目	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		売上 比率		売上 比率		売上 比率		売上 比率		売上 比率		売上 比率		売上 比率		売上 比率
当 せ ん 金	492,437	45.84%	508,252	46.01%	501,191	45.82%	476,161	45.60%	475,844	45.67%	450,311	45.60%	424,687	46.21%	466,244	46.59%
売りさばき手数料 支払手数料	82,458	7.68%	84,578	7.66%	84,471	7.72%	80,561	7.71%	80,200	7.70%	75,897	7.69%	70,234	7.64%	76,783	7.67%
普及宣伝費	29,967	2.79%	30,281	2.74%	29,464	2.69%	28,149	2.70%	28,066	2.69%	26,669	2.70%	24,763	2.69%	12,835	1.28%
印刷・宣伝費等	42,040	3.91%	41,751	3.78%	41,295	3.78%	39,769	3.81%	39,710	3.81%	40,277	4.08%	40,257	4.38%	37,223	3.72%
経 費 計	154,464	14.38%	156,610	14.18%	155,231	14.19%	148,479	14.22%	147,976	14.20%	142,843	14.46%	135,254	14.72%	126,841	12.67%
売 上 収 益 金	427,373	39.78%	439,838	39.82%	437,434	39.99%	419,603	40.18%	418,135	40.13%	394,415	39.94%	359,052	39.07%	407,706	40.74%
総 合 計	1,074,274	100.00%	1,104,700	100.00%	1,093,856	100.00%	1,044,243	100.00%	1,041,955	100.00%	987,569	100.00%	918,992	100.00%	1,000,791	100.00%

(注)平成23年度は当初発売計画ベースの数字
「普及宣伝費」は、平成23年度より「社会貢献広報費」へと見直し

平成23年度宝くじ事業の見直しについて(概要)

平成22年12月17日
全国自治宝くじ事務協議会

- 平成22年7月以降、総務省の「宝くじ問題検討会」及び全国自治宝くじ事務協議会の「普及宣伝事業検証PT」において、宝くじ事業の見直しについて検討を重ね、方向性を決定。
- 平成23年度の宝くじ事業においては、これまで議論を進めていた事項を含め、以下の見直しに着手。

1 普及宣伝事業をゼロベースで見直し、「社会貢献広報事業」として再構築

(1) 事業費の大幅削減

- 社会貢献広報費は128億円(②1 決算 267億円)
 - ・ 日本宝くじ協会 ②1 決算 174億円 ⇒ ②3 予算 41億円
 - ・ 自治総合センター ②1 決算 93億円 ⇒ ②3 予算 87億円
うち両団体の公益法人向け助成事業
②1 決算 54億円 ⇒ ②3 予算 27億円 (日本宝くじ協会のみ)
(対象が公務員だけのものや団体の単なる事業紹介のような冊子・DVDは対象外)
- 各事業の役割分担の明確化と資金の流れの簡素化
 - ・ 発売団体向け助成⇒全廃
(収益金で行う事業を活用した広報活動へ転換)
 - ・ 公益法人向け助成⇒半減
(公益性と広報効果の観点から検証を徹底し再構築)
 - ・ 一般市町村向け助成⇒総額維持
(住民に身近な広報効果。コミュニティ助成中心)

(2) 全国自治宝くじ事務協議会のコントロール強化

- 全国自治宝くじ事務協議会としての監督体制強化
 - ・ 協議会内に「社会貢献広報監督PT」を設置し、事前に基準・方針を策定、事後に検証する仕組みを導入。
 - ・ 検証に当たっては、第三者の意見を採用。
- 再委託のあり方も含め仕組み全体について、3年毎に定期的な見直し。

2 当せん金の拡充

- 宝くじファンへの還元による売上げ向上
 - ・ 今回の見直しにより捻出される財源の一部を宝くじファンへ還元。
 - ・ ジャンボくじの商品性を高めることを優先。
(1等の当せん金額引上げ、中間賞金の充実など)

3 緊急政策課題対応のための新しい宝くじの仕組み

- 大規模災害をはじめ緊急的な政策課題に直面する特定の地方公共団体がより機動的に宝くじによる資金調達をできるよう、新たな仕組みを創設。
 - ・ 23年度発売計画の策定に当たり、このような宝くじの発売が円滑に進むよう、当該宝くじの発売により発売時期の変更を余儀なくされる宝くじを振り替えるための「発売調整枠」を2月に2週間設定。
 - ・ 今後、協議会において、具体的な運用について議論。

4 その他

- 発売諸経費(社会貢献広報費、手数料を除く)の削減
②2 予算 337億円 ⇒ ②3 予算 314億円(▲23億円 ▲6.7%)
 - ・ 宝くじ発売計画を発売実績を踏まえて見直すことにより、無駄な事務経費を削減。
 - ・ 入札効果や在庫圧縮、ポスター作成枚数の見直しなど節減の徹底。
- インターネット販売を含む売上増進策
インターネット販売について、早期実施の要望が複数団体からあるため、協議会内に検討会を設置し、早期実施を検討。

ジャンボ宝くじの1等賞金及び前後賞の引き上げの推移

(単位:万円)

年	月	1等賞金	前後賞	合計	参考		
		A	B	C=A+B×2	証券単価 D	倍率 (A/D)	最高倍率 (当せん金付 証券法 § 5②)
S55	5	3,000	—	3,000	300円	10万倍	10万倍
56	11	3,000	500	4,000			
58	11	3,000	1,000	5,000			
60	11	5,000	1,000	7,000		17万倍	20万倍
61	11	5,000	1,500	8,000			
62	11	6,000	1,500	9,000			
H1	11	6,000	2,000	10,000			
4	11	6,000	3,000	12,000			
6	11	6,000	3,500	13,000			
8	11	6,000	4,500	15,000			
11	5	20,000	5,000	30,000		67万倍	100万倍
24	2	30,000	10,000	50,000		100万倍	

※1 1等賞金が3,000万円を超えた昭和55年以降のジャンボ宝くじに1等賞金及び前後賞の推移

※2 5月はドリームジャンボ宝くじ、11月は年末ジャンボ宝くじ

※3 平成24年2月に、1等前後賞合計5億円の東日本大震災復興支援グリーンジャンボ宝くじを発売予定

※4 法定の最高倍率は、昭和60年10月から20万倍、平成11年4月から100万倍

高額商品の比較表

	ジャンボ宝くじ	ロト6	BIG	WIN5	チャリロト (7重勝単勝)
発売(投票)方	抽せん番号が付番済	1から43までの数字の中から、6個を購入者が選択(コンピューターにより選択することも可)	J1及びJ2の14試合を対象にホームチームの勝ち＝「1」、その他(引き分け・延長)＝「0」、負け＝「2」、をコンピューターが選択	JRAが指定する5つのレース全ての1着を購入者又はコンピューターが選択(購入者の予想とコンピューターを合わせた選択も可)	1日全レースのうち、後ろから7つのレースの1着をコンピューターが選択
単価	300円	200円	300円	100円	200円
1等(最高)賞金額	2億円	4億円 ※	6億円 ※	2億円	12億円
法令上の倍率の上限	100万倍	200万倍 ※	200万倍 ※	200万倍	600万倍
平成22年度売上額	4,098億円	2,121億円	615億円	— (平成23年4月から導入)	11億円
販売経路	宝くじ売場等	宝くじ売場 ATM	toto売場 コンビニエンスストア インターネット	インターネット	インターネット
キャリーオーバーの有無	無し	有り	有り	有り	有り
平成22年度販売回数	5回	52回	32回	—	1場当たり58回

※ キャリーオーバー発生時。

(注) BIGはスポーツ振興くじtotoの商品の一つ。

平成 23 年度宝くじ収益金充当事業内容について (1 / 2)

区分	団体名	事業内容
都道府県	北海道	芸術文化振興
	青森県	新青森県総合運動公園整備
	岩手県	被災高校生への教科書無償貸与等
	宮城県	乳幼児医療費助成
	秋田県	芸術文化振興
	山形県	公園整備
	福島県	声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催
	茨城県	美術普及活動
	栃木県	とちぎ”食と農”ふれあいフェア
	群馬県	県営林機能回復
	埼玉県	太陽光発電拡大プロジェクト推進
	千葉県	博物館・美術館運営
	東京都	子育て推進交付金
	神奈川県	認定保育施設等事業費補助
	新潟県	バリアフリーまちづくり(歩道の段差解消等)
	富山県	山小屋トイレ整備
石川県	音楽文化振興	

区分	団体名	事業内容
都道府県	福井県	乳幼児医療費助成
	山梨県	県立博物館企画展
	長野県	長野県信濃美術館 東山魁夷館
	岐阜県	災害時の初動に必要な資機材の整備
	静岡県	公共施設等耐震化等
	愛知県	芸術文化センター運営
	三重県	美術館展示(展覧会推進)
	滋賀県	高等学校の施設改修
	京都府	京都府立山城総合運動公園改修
	大阪府	大阪マラソン
	兵庫県	地震体験車更新
	奈良県	東アジア連携
	和歌山県	市町村対抗ジュニア駅伝競走大会
	鳥取県	県立図書館の資料購入
	島根県	道路橋りょうの維持修繕
	岡山県	県立高校の耐震化
広島県	県立学校の施設整備等	

※平成 23 年度の宝くじ収益金充当事業の一部を表すもの。

平成 23 年度宝くじ収益金充当事業内容について (2 / 2)

区分	団体名	事業内容
都道府県	山口県	県立学校の耐震化等
	徳島県	萬の民(よろずのたみ)の阿波おどりフェスティバル
	香川県	乳幼児医療費助成
	愛媛県	乳幼児医療費助成
	高知県	道路橋りょうの維持管理
	福岡県	ふくおか県民文化祭
	佐賀県	子育て得々サービス
	長崎県	県立学校の図書購入等
	熊本県	県立劇場芸術文化振興
	大分県	県立芸術会館展覧会
	宮崎県	宮崎国際音楽祭開催
	鹿児島県	都市緑化フェア
	沖縄県	特別支援学校のスクールバス購入
政令指定都市	札幌市	円山動物園アジアゾーン整備
	仙台市	(仮称)仙台市東長町児童館整備
	さいたま市	放課後児童健全育成施設整備

区分	団体名	事業内容
政令指定都市	千葉市	子ども医療費助成
	横浜市	美術館運営等
	川崎市	市立図書館の図書購入
	相模原市	津久井広域道路整備
	新潟市	市立図書館の図書購入
	静岡市	静岡市美術館・静岡音楽館AOIの運営
	浜松市	乳幼児医療費助成
	名古屋市	東山動植物園の運営
	京都市	廃食用油燃料化
	大阪市	「OSAKA 光のルネサンス 2011」の開催
	堺市	白鷺公園複合遊具設置
	神戸市	「神戸ビエンナーレ 2011」の開催
	岡山市	おかやま国際音楽祭 2011
	広島市	安佐動物公園施設整備(チンパンジー舎改修工事)
	北九州市	「すくすく子育てフェスタ」の開催
	福岡市	消防車両等の購入

※平成 23 年度の宝くじ収益金充当事業の一部を表すもの。